高新聞

発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町6の3

勝ったぞ

連敗脱出

県西に圧勝

秋季県大会兼国体予選の第一回戦は、雨のため一日順延されたが、その代りとしてすでに、ラグビー部がサッカー部が県下一の練習試合を行った。両部ともここ数年来、ここ一番というところで十分に力を出し切れず惜敗したが、今回は行われた模擬リーグ戦の練習試合では、両部とも圧勝し、県予選突破に自信を深めた。

会場は芦屋グランドで、午前十時より開始された。試合開始後間もなく、両部とも強風にあおられ、ボールをうまく蹴り上げられず、ホームグランドであるという利点を生かすことができなかった。

ラグビー部は、前半一点、二点を取りすかさず、三回ウラにも連続、五回ウラにも四点を取り、六対一とリード。後半の始めに突入したところで十三時四十五分に各チームはグラウンドのセンターに集まり、ラグビーボールがグラウンドに一本に置かれ、審判の笛の合図で、その後七回ウラに二点を加え、大量十二点をもって県西を完全に破った。

サッカー部は、一回ウラに相手のゴールを破り、リードしたが、後半の始めに逆転され、五回ウラにも四点を取られ、六対一と大きく引き離された。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
県西	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
芦高	0	0	2	0	4	4	2	0	X	12

芦高からの一組は、相変らずの数で二十人余に対し、県西は十六名であった。

第60回全国高校野球選手権記念 兵庫大会

参加ふえ136校に

今年七年目、我が母校の夏期大会は七月十五日正午めざして来る。第一回中から、甲子園で行なわれる60回全国高校野球選手権大会は、引き続いて一回戦大会は、七月十五日(水)から十六日間、甲子園ドーム(組分けして行うをはじめ、県下五球場(鳴尾、明石、姫路、西脇工、三木、北条、小野、柏原、豊岡、生野、和木)で代表の座をかけて熱戦をくり広げる。今回の出場校うち、あらかじめシードされた上位四チームを別にし、残り二十八チームを抽選で十四組に分け、一回戦を行なうことになっている。

去年夏、地元兵庫に優勝旗をもたらした東洋大姫路、甲子園へ向けて猛練習を続けているとの事。

山崎 琴江

10日から県総体

第二十回兵庫県高等学校総合体育大会は、九月九日の開会式を持って開始される。

本校からも多数が参加し、各方面で熱戦をくり広げる。

やっと定員に

募集人員を上回る

今年度の入学者が定員に満たず、再募集までして約二百人を募集したが、五日間を延長して、やっと定員がそろった。

文化部規約制定す

去る六月五日、文化部連絡委員会が開かれ、文化部規約が制定された。

その規約は、四章から成り、部の設立及び解体を明記した事が注目される。規約の一部を紹介しよう。

第一章 総則

第一条 文化部規定は、自治会規約を基本とする。

その規定は、文化部の活動に支障をきたしてはならない。(第二条省略)

第二章 部の設立及び解体

第三条 同好会が結成は7名以上の部員を必要とする。

第四条 同好会が六ヶ月の準備期を経て、諸般を整えた後、特別許可をもって二カ年以上の存続が認められた場合は、その後同好会として用いた六ヶ月の準備期を経る。

第五条 同好会の届出を執行委員会に行なったのち、代表者は準委員に出席することを義務とする。

第三章 会計

第四章 その他

規約が持ちこされたことを契機に、今後の文化部の活動がよりそれぞれのものになるよう、今後の活動に大きな期待が掛けられている。

原文を知りたい方は執行委員会室へ

到着翌便
速達翌便

—成田宏孝—